



コミュニティだより



発行者：新津中央コミュニティ協議会(新潟市秋葉区新津本町1-2-39 TEL 0250-24-4219 FAX 0250-24-4229) 発行人：中村信也
URL <https://niitsuchuo.jimdofree.com/>

秋の文化歴史Walk

新津川から下興野排水機場
「片葉の芦」を探しながら



令和2年10月31日(土) 集合：午前9時 新津図書館裏イベント広場

小雨模様の朝でしたが、集合時間を迎えるころには雨もあがり、少しずつですがお日様さまが顔を出すようになりました。集まっていた皆さんの、担当者からの説明を受けラジオ体操をおこなってから、元気に出発しました。もちろん、コロナ対策も万全にして！



こんにちは！
体操ブーブーです



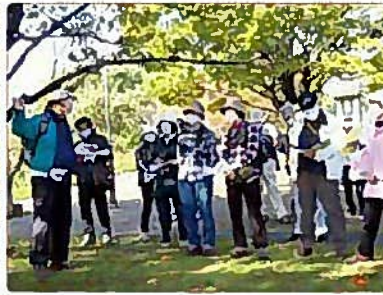
ラジオ体操の
お手伝いをしました



阪口五峰文学碑



阿達夜潮音文学碑



坂口安吾文学碑



新津図書館 付近

ここでは、市内大安寺の衆議院議員で漢詩人の阪口五峰とその五男の坂口安吾・阿達夜潮音(やちようおん)の文学碑があります。坂口安吾文学碑には、愛媛の晴子さんの筆による一文が刻まれています。



ひまわり橋を渡り、遊歩道を進んでゆきます。



古い3棟の倉庫



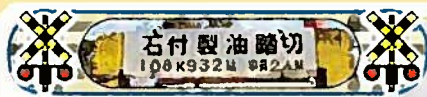
新津油田の最盛期のころ、掘削機械の修理や部品製造のため鉄工所が建設された。新津の石油全盛時を語る建物。



日揮化学脇を通過



滝谷本町
付近



(滝谷本町 富田家所蔵より)



JR磐越西線滝谷地区に「石附製油」という製油会社があり、その名のついた踏切があります。新津油田最盛期には、見渡す限りの圧倒的な数の石油槽が立ち並んでいました。



鉾盛橋を渡ります





柄目木舟着き場

新津油田で採れた石油は明治中期からこの場所から新潟の製油所へ木造舟で運びました。川幅は今の4~5倍あり、多くの石油舟が往来していました。
(柄目木舟着き場看板から引用)

真柄家の大けやき

新津油田発見者の真柄家屋敷入口付近にある榎の大木。幹周りが7.8m・直径2.5m、樹齢約800年とされています。上部は、製油所から排出される亜硫酸ガスで枯れてしまい今の姿になっています。



柄目木大橋に向かいます



能代川の堤防沿いを進みます



片葉の芦



下興野排水機場



柿団地で美味しそうな柿を見てからゴール地点の新津図書館に戻りました。

お疲れ様でした

今回は新津川沿いの石油の歴史と洪水を防ぐ排水の仕組みを学習しながら歩きました。

途中には、直江津の居多神社裏に行かないと見る事ができないと思っていた越後七不思議の一つ「片葉の芦」が能代川堤防沿いにたくさん生えている事が分りました。

約7kmの距離を、学びながら楽しく健康作りをしました。

みなさんも「片葉の芦」を探してみませんか。

防犯防災部活動報告

早朝児童登校時パトロール

新型コロナウイルスの影響で休校していた学校も4月には新入生を迎え新年度をスタートしました。今年度は児童を見守る防犯部員もマスク着用で普段とは違う光景でしたが、子供たちはいつもどおり元気に登校していました。

今年度の活動は11月で終了しましたが、引き続き地域のボランティアの方々が子供たちの安全を見守ってくれます。



今日も元気に
行ってらっしゃい!!

見守り活動実施日

- 4/10(金) 6/10(水)
- 7/10(金) 9/10(木)
- 10/13(火) 11/10(火)



防災ハザードマップ現地確認調査



田家地区の危険箇所マップ



急傾斜地の法面工事が行われています



大雨の時は山からの流入で水路が溢れることも

7月19日(日)、防犯防災部員9名により田家地区における防災ハザードマップ現地確認調査を行いました。田家地区は急傾斜地崩壊危険区域に指定されており、土砂災害に警戒が必要となっています。また水路も多く、大雨の際に度々溢れるそうです。対策済や工事中の箇所もありますが、未対策の危険箇所については早急な対応が必要と感じました。

新津中央コミ協管内では土砂災害だけでなく、河川の氾濫にも注意が必要です。経験したことのない豪雨が、近年多く発生していることから、ハザードマップに示されている以上の災害発生が予想されます。今一度、周辺の危険箇所を確認し、いざという時の備えをしておきましょう。



初めてのスマホ教室

<おめさんでも大丈夫>

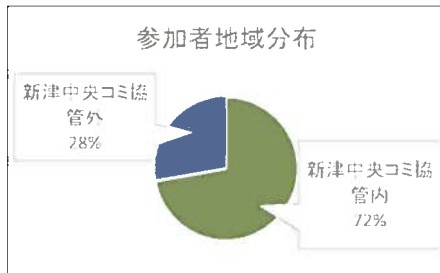
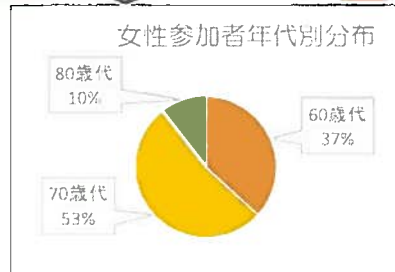
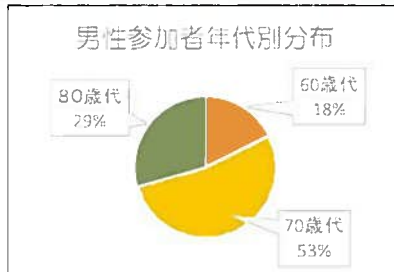
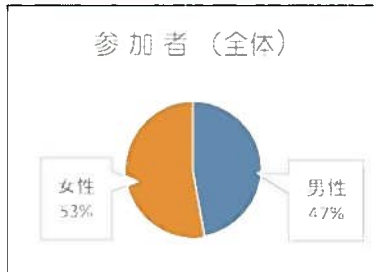
ガラケーを使っている人
集まれ～

スマホに不慣れな人も
来てくださいね

スマホに換えてみませんか



大勢のみなさんに、ご参加いただきました



10月27日(火)新津地域交流センターにて「初めてのスマホ教室」を開催しました。【ガラケー編】【スマホ編】に合わせて43名という大勢の皆さんに、ご参加いただきました。約4～5年後くらいには、ガラケーのサービスは終わります。「スマホはこんな事が出来ますよ。」を説明してから、皆さんからの質問に答えるかたちで進めました。「年金生活者なので料金が…」とか「使えるかな…」といった不安な声が多く聞かれました。

今回の教室でいただいたご意見・ご要望を精査して、次回の教室を計画・開催する予定です。

Kamo Shinkin

**加茂信用金庫
新津支店**

**カメラ片手に
どこまでも**

3階建てのビルの側面に、グリーンカーテンを栽培されている加茂信用金庫 新津支店にお話を伺ってきました。

加茂信用金庫 新津支店長 小林 裕さん

取材日: 9月16日(水)

<始めたきっかけは?> 南側がガラスのため、遮光と環境に配慮して始めました。

<手入れはどなたが?> 支店長の私を中心に、手の空いている人たちで。

<肥料は?> 鶏糞・油粕・液体有機肥料などを、年に5回ほど蒔きました。

<種類は?> ゴーヤとあさがお。今年は10mくらいに成長してくれました。

<反響は?> 大勢のお客様から毎年楽しみにいただいています。

新津川 除草

クリーン作戦

11月8日(日)午前9時~10時30分
新津図書館裏イベント広場に集合
天候：曇りから晴れ



昨年は天候不良のため中止となった「新津川・除草クリーン作戦」今年は曇りペースの中で開催されました。

この作戦を主催する秋葉区役所建設課からのあいさつと作業内容の説明後手に、鎌やほうき、ゴミを入れる袋を持ち、作業場所に向かいました。

今年の作業エリアは、新津川両岸の遊歩道周辺（滝谷本町上流側の木橋から善道町付近の木橋）の作業はあらかじめ機械除草された草を集めて遊歩道脇に積んだり、ゴミを拾い集めたり、刈り残された草を鎌で刈り集めるといったものです。作業しやすいところもありますが、傾斜になっている場所もあり、皆さん滑らないように注意しながら作業を進めていました。



今回は、新型コロナ禍ということで参加された皆さんはマスク着用の作業となりました。例年と比べると少し苦しそうなお姿がみられました。作業から戻ってきた皆さんは、上着を肩に掛けたり腰に巻いたり、手にはゴミ袋を持ち、疲れの中にも晴れやかな表情でした。お疲れ様でした。そして、建設課の方々もご苦労様でした。



ヘルシティー様駐車場



下金沢橋付近

当コミ協は、各専門部を中心とした活動をおこなっています。今年度で3回目を迎えた【秋の文化・歴史ウォーク】は、文化教養部の主催で、防犯防災・健康福祉・環境緑化の各専門部と事務局に呼びかけをおこない開催しました。つまり「オールコミ協」という事です。今年のウォークでも、専門部合同会議で事前説明会をおこない利便性や安全面に配慮した人員配置でおこなわれました。携わっていただいた皆さん「お疲れ様でした。」これからも「オールコミ協」活動の推進を継続していきます。新津の街の皆さんからも「こんな事やってよ。」「一緒にやりませんか。」などのご意見をいただければ幸いです。



下興野排水機場付近



専門部合同会議

吊るし雛の豪華競演

あのホッコリ空間が帰って来ます
グレードアップされたほっこりをふたたび

新津の名物駅弁
食べませんか？



令和3年2月1日(月)から3月7日(日)
新津地域交流センター

主催：新津中央コミュニティ協議会
秋葉区自治協議会
協力：子どもたちからおとなまで

金森敦子講演会 < 新津郷村落の成立 >

令和3年2月6日(土)『新津郷の村々の成立』
令和3年3月6日(土)『<新津郷の洪水>河の脅威・河の恵み』

時間：13時30分開場 14時開演
場所：新津地域交流センター多目的ホール
主催：新津中央コミ協 文化教養部
新津地区公民館の「コミ協出前講座」



講師の金森敦子さんは、新潟市江南区在住の作家・郷土史家。芭蕉を初めとする江戸時代の旅の専門家

詳しくは、来年1月発行の「あきは区役所だより」にて

【お申込み・お問い合わせ】

住所：新潟市秋葉区新津本町1丁目2の39
新津地域交流センター内 新津中央コミ協
電話：0250-24-4219 FAX：0250-24-4229
(電話は月曜から金曜の午前中をお願いします)
メール：niitsuchuo@gmail.com
ホームページ(URL)：https://niitsuchuo.jimdofree.com/
※【新津中央コミ協】で検索するか右のQRコードをご利用ください。

QRコードもご利用ください



ホームページ



YouTube

事務局前設置のTVモニターでも情報発信をしています。是非、ご覧ください。

編集後記



新津中央コミュニティだより第46号をお届けします。新型コロナ禍の影響を受けて、一部の事業では活動を自粛する事態も生じています。今号では「オールコミ協」で取り組んだ「秋の文化・歴史ウォーク」や広報部事業の「初めてのスマホ教室」などの活動を紹介しました。また、秋葉区主催の「新津川・除草クリーン作戦」や「秋葉つるぎり隊」に参加した様子などもお伝えしました。この他にも、当コミ協事務局前のTVモニターやホームページでもご紹介しています。本格的な冬将軍の到来です。健康に十分ご注意ください。
【広報部 笹川記】

(注)新津中央コミュニティ協議会の各種事業は、主に新潟市からの補助金により賄われています。